

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	節電・電源セキュリティ向上緊急事業 (病院等へのコージェネレーションシステム緊急整備事業)		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度(3次補正)		担当課室	地球温暖化対策課		調整官 和田 篤也		
会計区分	一般会計		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	「復興への提言～悲惨のなかの希望～」(東日本大震災復興構想会議) 「東日本大震災からの復興基本方針」(東日本大震災復興対策本部) エネルギー基本計画、地球温暖化対策基本法案、新成長戦略、京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業では、医療施設又は福祉関係施設への、都市ガス又はLPGを使用したガスコージェネレーションシステムの導入を支援することにより、「電源の二重化」による電力供給の安定化を図り、災害時における人命にかかる事態を回避するとともに、地球環境問題としての温室効果ガス排出、地域環境問題としての大気汚染物質排出の双方を同時に削減するという重要かつ緊急な課題に対応することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働省と連携して公募し、医療施設又は福祉関係施設にガスコージェネレーションを導入する民間団体に対して、設備費用を補助する。(補助率:1/2)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	525	-	-	
		繰越し等	-	-	△512	512	-	
		計	-	-	13	512	-	
	執行額		-	-	13	-		
執行率(%)		-	-	100%	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	補助事業によるCO2削減量		成果実績	t-CO2	-	-	85	2,700
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実施件数		活動実績	件数	-	-	1	-
			(当初見込み)		-	-	(15)	(14)
単位当たりコスト	10,470(円/t-CO2)		算出根拠	13,350,000円(執行額)/85t-CO2(年間のCO2削減量見込み×15年(法定耐用年数))				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	非常用電源としてはディーゼル発電機が比較的安価であることから、地球温暖化対策を推進するためには国がコージェネレーションシステムの導入を支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	公募により補助金の交付先を決定するものであり、透明性、競争性が確保されている。また、補助率を1/2としており、受益者にも相応の負担を求めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	厚生労働省との連携事業であり実行性の高い事業である。ガスコージェネレーション推進事業補助金(経済産業省)は、家庭用需要を除く全業種を対象としているのに対し、本事業は、医療施設等に限定し集中的に整備することとしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 <small>ガスコージェネレーション推進事業補助金(経済産業省)</small>	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度3次補正予算であり、単年度限りとする。 なお、平成24年度からは、「病院等へのコージェネレーションシステム緊急整備事業(厚生労働省連携事業)」において医療施設及び福祉関係施設へのコージェネレーションシステムの導入を引き続き推進する。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	点検結果欄に記載のとおり、本事業は平成23年度3次補正予算で措置されたものであり、平成25年度概算要求は行わない。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	廃止		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-014

※平成23年度実績を記入

環境省
13百万円

節電・電源セキュリティ向上緊急事業
(病院等へのコージェネレーションシステム緊急整備事業)

【内容】

本事業では、医療施設又は福祉関係施設への、都市ガス又はLPGを使用したガスコージェネレーションシステムの導入を支援し、電力供給の安定化を図り、災害時における人命にかかる事態を回避するとともに、地球環境問題としての温室効果ガス排出、地域環境問題(公害)としての大気汚染物質排出の双方を同時に削減するという重要かつ緊急な課題に対応することを目的とする。

補助金

医療法人白水会紀泉病院
13百万円

【業務内容】

ガスコージェネレーションシステム
の設置

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 <small>(「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.医療法人 白水会 紀泉病院			B		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	直接工事費	材料費、労務費等	13			
	計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医療法人白水会紀泉病院	ガスコージェネレーションシステム	13	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

